

『手話言語への理解を広める演劇会』

日時 2016年8月11日 祝 13:30~16:30 (13:00~開場)

会場 阿倍野区民センター 大ホール

大阪市阿倍野区阿倍野筋4-19-118
阪堺上町線・地下鉄谷町線「阿倍野」駅下車 徒歩3分
地下鉄御堂筋線・JR「天王寺」駅下車 徒歩10分

内容 第1部：デフ・パペットシアター・ひとみ
「森と夜と世界の果てへの旅」(上演時間80分)
第2部：手話言語条例に関するシンポジウム(予定)

参加協力券 大人 2,000円、小人(小学生まで) 1,000円

お問い合わせ先・参加協力券申し込み先

 公益社団法人大阪聴力障害者協会

大阪府谷町福祉センター3階

FAX: 06-6768-3833 TEL: 06-6761-1394 E-mail: rouosaka@yo.rim.or.jp



大阪府芸術文化振興事業



デフ・パペットシアター・ひとみは、ろう者と聴者が共に創る人形劇団です。
1980年創立、視覚的表現を追求する舞台を目指し、その活動は多くの人々のつながりに支えられ、
日本国内はもちろん、海外にも公演の場を広げております。

小さい頃からぐうたらで、酒を飲んでばかりの
トホホな放蕩息子・ジュジュマン。ある日とびき
りウマーイやし酒を造るヤシオーが死んじゃった。
そのヤシオーに会いにいくため、森と夜と奇々
怪々な世界へ足を踏み入れ、困難に向き合い
ながらも歩き出す。自分と出会い、未知なる道
ゆく旅路の果ては、一体何処に辿り着くだろう？
生と死と、人と精霊、この世とあの世、
森と夜と世界の果てへの冒険劇！

森と夜と 世界の果てへの旅

ナイジェリア人作家エイモス・チュツオーラ著『やし酒飲み』
を原作に、魔術的で自由奔放な世界観を人形劇化しました。
ろう者と聴者の感性を活かす、人形劇の新しい表現の可能性を
追求した、結成30周年にふさわしい作品です。
縦横無尽な世界観の構成台本は、国際的評価の高い
パフォーマンスグループ【パパ・タラフマラ】を設立した
小池博史(現:小池博史ブリッジプロジェクト)。
演出は前作『はこ/BOXES』に引き続き、ユーモアある視覚
表現で多くの人を魅了し続ける、人形劇界の精鋭くすのき燕です。
多種多様な人形によるエネルギー溢るる冒険旅行に
是非お立会いあれ！

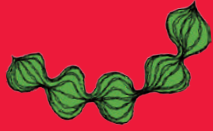
出演

デフ・パペットシアター・ひとみ



写真・加藤昭裕

ろう者と聴者が共につくる人形劇団
デフ・パペットシアター・ひとみ結成30周年記念作品



人形×からだ×音×手話±コトバ
～アフリカ～この世×あの世=!?

森と夜と

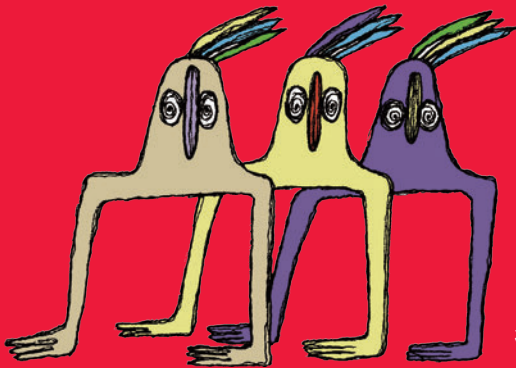
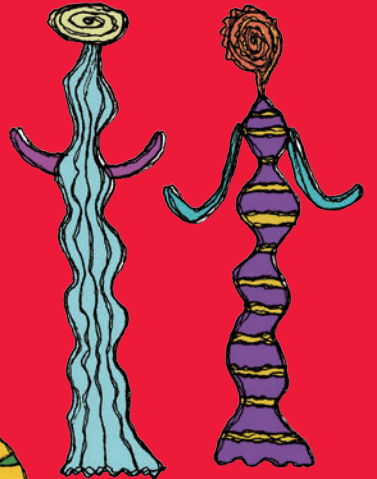
世界の果てへの旅



原作/エイモス・チュツオーラ『やし酒飲み』

それは、遠くて、近い、誰かの、私の物語。

脚本 / 小池 博史 (小池博史ブリッジプロジェクト)
演出 / くすのき 燕 (人形芝居燕屋)
美術 / 太田 拓美
音楽 / やなせ けいこ
照明 / 後藤 義夫 ((有)ステージ・アイ)
振付 / 斉藤 美音子
舞台監督 / 牧野 英玄
企画・制作 / (公財)現代人形劇センター



後援：一般財団法人全日本ろうあ連盟、ナイジェリア大使館、NPO法人日本ウニマ



ろう者と聴者が共につくる

デフ・パペットシアター・ひとみ
DEAF PUPPET THEATER HITOMI

公益財団法人 現代人形劇センター/デフ・パペットシアター・ひとみ
〒211-0035 川崎市中区井田3-10-31
TEL: 044-777-2228 FAX: 044-777-3570
URL: <http://deaf.puppet.or.jp/> E-mail: deaf@puppet.or.jp
Twitter @DEAF_PUPPET Facebook デフ・パペットシアター・ひとみ